

◎ 〈北勢コース・四日市の行進〉三泗原水協・佐野さんの報告

12日(木)お昼、富洲原駅前で乗員から引き継ぎ集会。参加者32名(医療生協17、新婦人2、民商2、北勢労連2、年金者組合1、いなべ年金者組合1、国交1、共産党2、原水協1、県原水協1、通し行進者2)は昨年(26名)を上回りました。とりわけ医療生協のみなさんがたくさん参加されました! 午後、雨の心配を吹きとばすいいお天気の下、市役所までの10kmを元気よく行進。

- 13日(金)朝、市役所前で出発集会。昨年から恒例になった四日市市からの挨拶を受ける(山下市民部次長)。集まったのは10団体44名(医療生協10、コープ3、新婦人8、民商2、年金者組合4、国交2、北勢労連3、全労働1、原水協2、通し行進者2)で、昨年の34名を10名増。行進者が多くなり、元気づけられた行進でした。

◎ 〈同・13日鈴鹿の行進〉川北さんの報告

1時すぎ、四日市からの行進を高岡公園で引き継ぐ。のべ45名の参加(四日市医療生協3、コープ3、国交3、民商3、年金者組合6、新婦人12、建労7、共産党1、平和委1、通し行進者3、個人3)でほぼ昨年並みか。行進者が多くて行進に手間取った。行進テープは音楽をBGMにして、スポット・アナウンスの入ったCDがあればいいと思った。夕方、市役所前に到着、鈴鹿市長からのメッセージが昨年よりいい内容であった。市長・議長からペナント・協賛金(2万円)もいただく。沿道チラシ500枚。

◎ 〈同・14日鈴鹿の行進〉川北さんの報告

体育館前での出発集会は39名(コープ2、民商5、新婦人2、年金者組合14、建労7、共産党1、平和委1、その他4、個人2、通し行進2)。行進は30名で歩いた。晴天、風もあり、快調な行進になった。白子公民館の休憩で通し行進者の五十嵐さん、荒木さんから短いお話を聞き、感銘。参加団体からもひとこと発言があつて核兵器・原発・国政の学習の場になった。沿道チラシ200枚。

- 午後は鼓ヶ浦公民館から津のお城西公園まで行進。参加者は35名(鈴鹿から6名、河芸新婦人3、同医療生協6、同共産党1、国交1、全労働1、通し行進者2、コープ15)。河芸公民館でお二人の話を聴く。医療生協の80歳の方の戦争体験談は心に沁みる平和学習となった。沿道チラシ200枚。

◎ 〈14日・津市のコープみえとの合同集会、ハート平和行進、終結集会〉生協連妹尾さんの報告

津のお城西公園で開かれていたコープみえの平和集会に、メインコースと北勢コース、久居コースがぶじ合流。総勢160人の大きな合同集会になった。今年は音楽家の鈴木みづえさん、自治労連の祖父江さんたちが「こんにちは!平和行進です!」などの歌声と演奏で雰囲気盛り上がる。松阪からのみなさんの姿も。

- 前津市長からのメッセージ(代読・人権課長)をいただいた後、全員で記念撮影してパレードに出発。行進は160名で列が長くなる。県下でここだけは津署の警備が付く。
- 県庁前の勤労者福祉会館でコープみえ・三友会・原水協共催の終結集会。土曜日ということもあつてか参加者は120名で昨年より多い。司会は新婦人平和部の竹田房子さん。
- 主催者を代表して落合実行委員長から挨拶(落合さんは宣伝カーのスポットでも奮闘された)。核兵器全廃の国際的な新しい動きとそれを阻んでいる日本政府や核保有国とのせめぎあいの現状をなまなましく報告、それを打ち破るのはこのような市民の共同の力だと強調。三重県の三者の共同は13年の歴史を積み上げて、たしかな力に育っていると参加者を励まされた。
- コープみえの松岡ゆかりさんから県知事(代理・福田戦略企画部長)に要請書を手渡し、県の挨拶。市民生協わかやまの通し行進者竹谷雅彦さん、五十嵐さん、辻井さん、荒木さん、鈴木さんがそれぞれ個性的な挨拶を受けたあと、宮崎彰三友会会長から閉会の挨拶を受けて散会。その後、通し行進者とコープみえとの懇談会がもたれ、茶菓を頂きながら親しく懇談しました(19名)。